

# 学校だより 第14号 ㊦



令和3年10月26日 津市立榊原小学校

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」と「第1回みえスタディ・チェック」の結果について

5月27日(木)に、6年生6人を対象に「全国学力・学習状況調査」が実施されました。また4年生6人と5年生8人を対象に「第1回みえスタディ・チェック」が実施されました。

各学年の採点や集計結果等が発表されましたので、本校児童との比較や各教科の分析、質問紙等の分析をお知らせします。すでに授業改善等につなげていますが、保護者のみなさまには、お子様の得意なことを認めながら、今後の学習や生活の励みとなるような声かけをお願いします。

### 【平均正答率(%)】 6年生の全国学力・学習状況調査(6人)

	国語	★算数★
榊原小学校	全国より約10%上回る	★全国より約4%下回る★
三重県	64	69
全国	64.7	70.2

### (国語について)

全領域を通じて、全国平均を10ポイント程度上回ることができた。昨年度のみえスタディ・チェックでは県平均よりも10ポイント低かったことから、この1年で大いに学力を伸ばすことができた。5年生の時から、学級文庫を充実させ、毎日の読書活動にも取り組ませた成果とも考えられる。

領域別に見ると、領域A「話すこと・聞くこと」、領域B「書くこと」に比して、領域国語C「読むこと」については、ほぼ全国平均に等しく、特に「資料を読み取る」ことに課題が見られる。「資料を読み、必要な情報を見つけ要約して書くこと」に重点を置いた指導を継続したい。

### (算数について)

全領域を通じて全国平均を4ポイント下回る結果となった。しかし、昨年度のみえスタディ・チェックでは、県平均を5ポイント下回っていたことから、若干学力が伸びたと考えられる。

領域別に見ると、領域A「数と計算」・領域C「変化と関係」に比べ、領域B「図形」に課題が見られる。三角形の面積を求める基本的なものから、複数の図形を組み合わせた図形の面積を求めたり比べたりするものなど、応用的問題にも弱みが見られる。

対策として、初めて「三角形」を扱う3年生の段階からステップを踏み、復習・確認に取り組み始めている。

### 【児童質問紙からみられる生活・学習状況と今後の取り組みについて】

#### (本校の強み)

「将来の夢や目標を持っている」「いじめは、どんな理由があってもいけない。」の質問には全員(100%)が「当てはまる」の回答をしている。また、「今住んでいる地域の行事に参加している(当てはまる+40%)」「学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる(当てはまる+36%)」「携帯電話・スマートフォン・PCなどの使い方について、家の人と約束したことを守っている(きちんと守っている+29%)」は、全国の回答結果に比べて、榊原小は上記のような高い結果が出ている。

学習に関しても、「英語の勉強は好き(+45%)」「5年生までに受けた授業は、自分に合った教材、学習時間になっていた(+44%)、PCなどのICT機器を週1回以上使用した(+27%)」「国語の勉強が好き(+27%)、国語の授業の内容はよく分かる(+27%)」の回答は全国より高くなっている。

### (本校の弱み)

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか？（－８％）」「友だちと協力するのは楽しいと思いますか？（－５％）」の質問項目で、全国と比べて少し低くなっている。

学習に関する質問項目「算数の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」の肯定的な回答が全国より１６％低くなっている。（三重県ではこれまでに中で最も高い）また、「算数の勉強は大切である（－１０％）」「算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う（－６％）」算数を普段の生活の中で活用できないか考える（－６％）」も全国と比べて少し低くなっている。

ここ数年は、算数の研究授業を年に数回行い、大学教授等から助言をもらっていますが、引き続き、算数の教科を中心に授業改善に取り組んでいきたい。他の教科においても「自分の考えをまとめる」「わかりやすく伝えたり話したりする」活動を各学年の発達段階に応じて意識的に取り入れていく。日頃から学習していることを、日常生活の中で生かしていく場面や働きかけをさせていきたい。

---

#### 【平均正答率（％）】 5年生の第1回みえスタディ・チェック（8人）

	国 語	算 数	理 科
榊原小学校	県より約21%上回る	県より約18%上回る	県より約16%上回る
三重県	60.7	56.9	50.9

国語 「読み取り」問題はよくできていた。しかし、条件に従って50字以上60字以内にまとめて書く問題の正答率が低かった。

算数 ほとんどの領域で県平均を大きく超えているが、「家を出発してからの所要時間を求める」「ヒマワリの高さの伸び」の問題の正答率が低かった。

理科 「気温の変化を表すグラフ（木の影がない→曇っている）」「とじこめた空気を温める実験」の問題の正答率が低かった。

---

#### 【平均正答率（％）】 4年生の第1回みえスタディ・チェック（6人）

	国 語	算 数
榊原小学校	全国より約21%上回る	全国より約17%上回る
三重県	56.8	59.0

国語 「読み取り」問題はよくできていた。しかし、「文法」問題は、もう少し定着するように指導していきたい。（長い→時間が）

算数 ほとんどの領域で県平均を大きく超えているが、「量と測定」等の領域はもう少し時間をかけて復習させてきたい。（正三角形のとくちょう）

---

現在5年生の児童（8人）については、来年度（新6年生）の全国学力・学習状況調査が、令和4年4月19日（火）に行われます。国語、算数、理科、児童質問紙の調査です。

また、3学期には、**第2回みえスタディ・チェック（国語と算数）**がCBT方式で行われます。（Computer Based Testing とは試験における工程をすべてコンピュータ上で行うこと）